

平成 25 年 5 月から肛門疾患・排便障害外来を始めております。  
肛門疾患や排便障害は、なかなか医療機関に受診できず、悪化させてしまうことがあります。受診せずに悪化させてしまうより、まずはお気軽にご相談ください。  
専門医が、適切、詳細な検査に基づき、症状や程度に応じた最善の治療を行います。

## 1. 診察日

毎週火曜日 午後 1 時 30 分～3 時としておりますが、曜日ならびに診察時間の変更はご相談に応じます。

## 2. 対象疾患

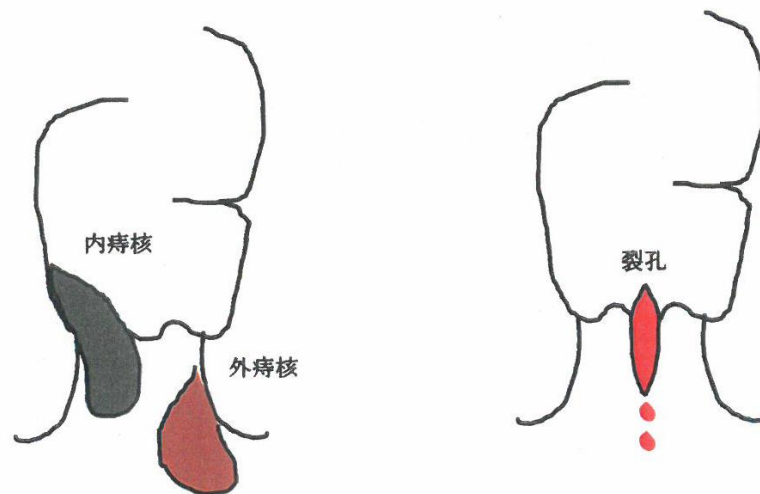
(1)肛門疾患【①痔核 ②痔瘻 ③脱肛 直腸脱 ④肛門痛・肛門搔痒<sup>そつよう</sup>】

(2)排便障害【①便秘 ②便失禁】です。

(1)肛門疾患

### ①痔核

内・外痔核（いぼ痔）、裂孔（切れ痔）があります。

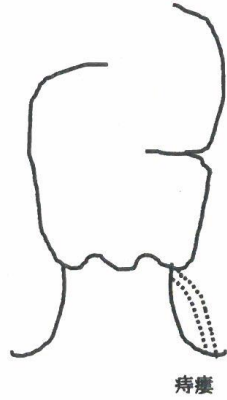


### 【治療】

薬物治療（内服・軟膏・坐薬）、痔核注射療法（ジオン注）、手術治療等があります。

②痔瘻

下部直腸と肛門周囲の皮膚にトンネルができる病気です。

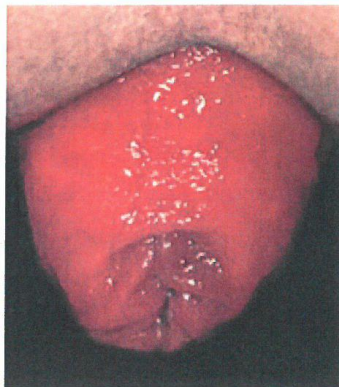


【治療】

基本的には手術治療となります。

③脱肛・直腸脱

①の内痔核が原因となり肛門より脱出することもあるが、肛門括約筋（肛門を絞める筋肉）が緩んで肛門・直腸粘膜ならびに直腸が肛門より脱出する病気です。



【治療】

基本的には手術治療となります。

#### ④肛門痛・肛門周囲<sup>そつよう</sup>掻痒

①の仲間である血栓性痔核や痔瘻から発生する肛門周囲膿瘍が肛門痛の原因になることもあります。また、神経学的な原因で発生するものもあります。脱肛や直腸脱により肛門が緩むことで直腸粘液の漏出により掻痒感の原因になったり、肛門周囲の不潔環境や特殊な病気・薬剤の長期投与によって発生する真菌（カビ）が原因になることもあります。

#### 【治療】

原因疾患の治療となります。

### (2)排便障害

#### ①便秘

一般的には3、4日間以上有効な排便がない状態を言いますが、定期的な排便があっても、すっきりした排便感がない、排便後も便が残った感（残便感）があるのも便秘の一種です。

#### 【検査方法】

- ・ 詳細な問診（病歴聴取）

症状、内服薬、既往症等について問診をします。

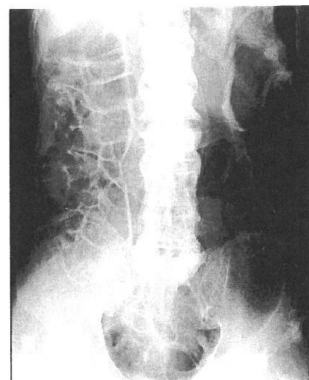
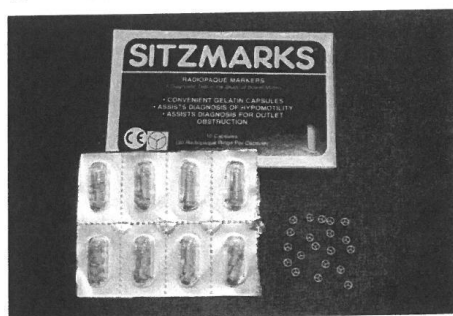
- ・ 診察

腹部・直腸肛門を含めた全身の診察を行います。

- ・ 大腸通過時間検査

弛緩性便秘を鑑別する目的で実施する検査です。

X線不透過マーカー（SITZMARK）を服用後5日目に腹部X線写真を撮影して大腸内に残存するマーカーの状態を測定します（5個以上の残存で弛緩性便秘と診断）。



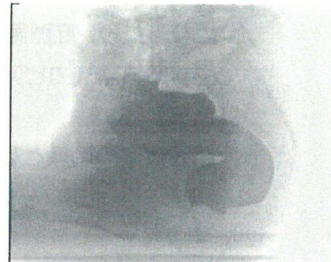
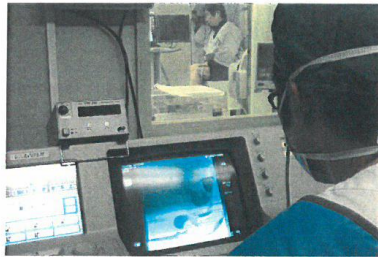
マーカーは自然排出されます。

精度が高く、安全な検査です。

- ・排便造影

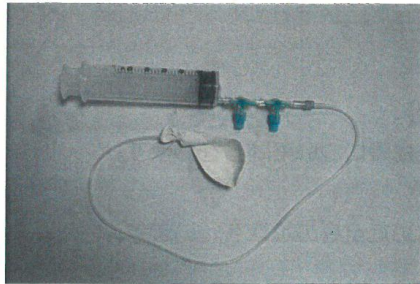
直腸性便秘を鑑別する目的で実施する検査です。

バリウムに中力粉を混ぜた擬似便を直腸内に注入し、直腸ならびに肛門の活動をレントゲンで常時観察します。



- ・直腸バルーン知覚検査

直腸の便意感覚を測定するために実施する検査です。



- ・その他検査

大腸癌や炎症性腸疾患（クローン病・潰瘍性大腸炎）等が疑われる場合には、腹部CT、MRI、大腸内視鏡検査等を行う場合があります。

【治療】

- ・生活指導（食事・排便方法等の教育）
- ・薬物治療（緩下剤、浣腸、腸管蠕動促進薬の投与）
- ・手術治療

## ②便失禁

便意を感じることなく、気づかぬうちに便が漏れたり、便意はあるが、トイレまで我慢できずに移動中に漏れたりします。

### 【検査方法】

- ・ 詳細な問診（病歴聴取）

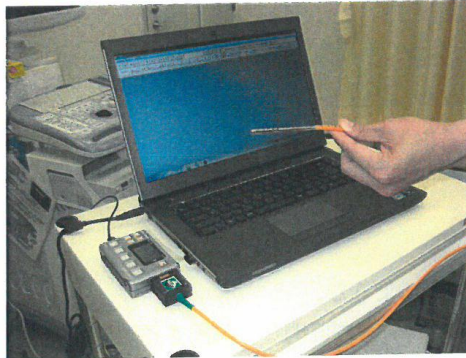
症状、便失禁の頻度、便漏れの内容、オムツ（パッド）の使用状況、日常生活への影響、既往症、出産歴等について、問診します。

- ・ 診察

直腸肛門（主に肛門括約筋筋力）機能を含めた全身の診察を行います。

- ・ 直腸肛門内圧測定

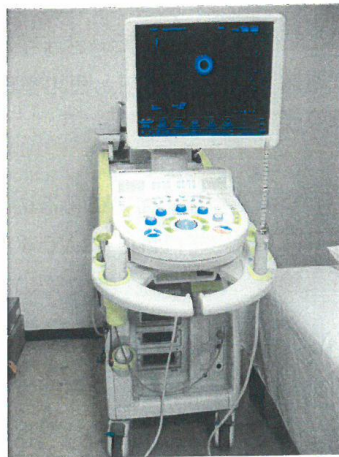
肛門括約筋の締め具合を測定する検査です。



中四国初導入  
最新の直腸肛門内圧測定器

- ・ 肛門超音波検査

出産等に伴う肛門括約筋の損傷を調べるための検査です。



- ・直腸バルーン知覚検査  
直腸の便意感覚を測定するための検査です。
- ・その他検査  
軽度の便失禁では排便造影検査を行うことがあります。

【治療】

- ・生活指導（食事指導・排便指導）、骨盤底筋体操指導
- ・薬物治療（便秘異常改善薬、腸管運動抑制薬の投与）
- ・アナルプラグ（肛門に挿入）



- ・手術治療（括約筋修復術、肛門括約筋再建術、人工肛門造設術等）

～よくある質問～

Q 脱肛と直腸脱は違うのですか。

A 脱肛は、痔核（いぼ痔）等が肛門から脱出する際に、肛門粘膜と一緒に出るものです。

直腸脱は、痔核等に関係なく直腸が肛門から脱出するものです。

Q 便失禁は、年齢とともに少なからずあると思っていたのですが。

A 肛門括約筋は、確かに年齢とともにゆるくなっていきますが、きちんと修正すれば便失禁を改善することが可能です。本院では、きめ細かな検査で身体状況を調べ、最善の治療方法を探ります。

Q 便秘の治療は、どこの病院へ行っても下剤の処方のみなのですが。

A 便秘の原因はさまざまです。下剤で改善されればよいですが、あまり変化がないようであれば、一度本院を受診していただければと思います。